

第5回九州・沖縄ブロック
地域相談支援フォーラムin沖縄

長崎県がん診療連携協議会 相談支援WG

報告者：長崎みなとメディカルセンター市民病院

手水 真理子

長崎県がん診療連携協議会

相談支援ワーキンググループ



1) 平成28年度 活動報告

就労支援・ハローワークとの連携



ハローワーク長崎 出張相談受付中

自分の病状、体力にあった仕事を見つけたい

通院の必要はあるけど、働きたい

企業に病気を伝えるか迷うなあ？

久しぶりに仕事に戻るのが不安・・・



ハローワーク長崎の就職支援ナビゲーターが、長崎大学病院がん診療センターのがん相談支援センターで出張相談を行います。お仕事に関する悩みや不安をご相談ください。

場所

長崎大学病院がん診療センターがん相談支援室

日時

毎週火曜日(休日は除く) 10時30分～14時30分

大学病院に入院または通院中の「がん」等の長期にわたる治療を受けている患者さんが対象です。相談は無料です。プライバシーは保護します



問い合わせ先

長崎大学病院 がん診療センター がん相談支援室(がん相談支援センター)
電話 095-819-7779 (平日9時～17時)
医療ソーシャルワーカー 担当 青木

平成28年4月～
長崎大学病院にて、
ハローワーク長崎の就労支援ナビゲーターが出張し、就労支援相談開始

【日時】毎週火曜日

10:30～14:30(祝日を除く)

予約優先

【相談料】無料

大学病院以外の患者
さんも最寄りのハロー
ワークで相談可能

①長崎大学病院の場合

大学病院の求職
希望のがん患者

- ・出張相談またはハローワーク長崎で面談
- ・求人紹介、アドバイス
- ・雇用に関する情報提供

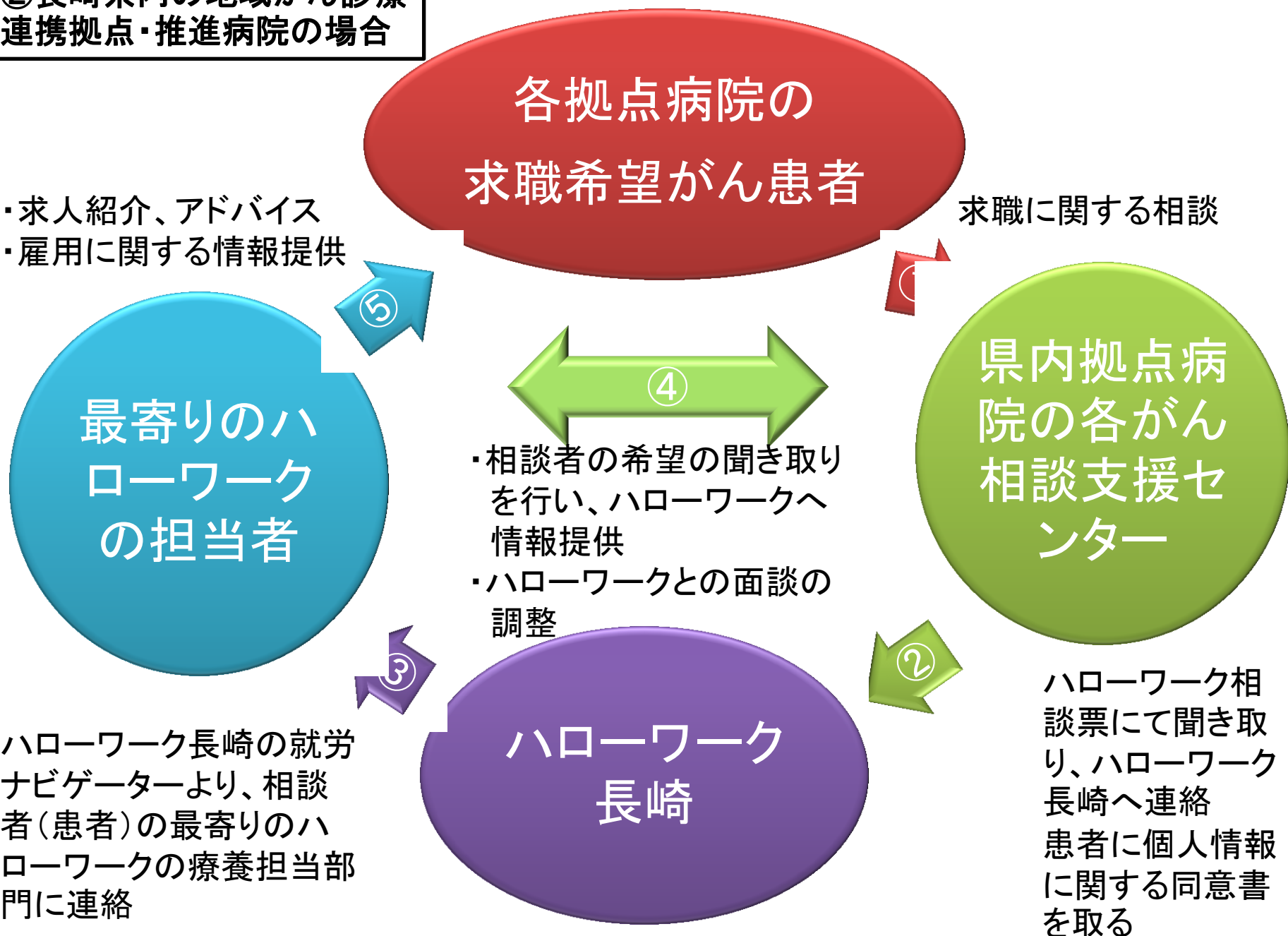
- ・求職に関する相談
- ・出張面談申し込み

ハローワーク
長崎

がん相談
支援センター

- ・相談者の希望の聞き取りを行い、ハローワークへ情報提供
- ・面談の調整

②長崎県内の地域がん診療連携拠点・推進病院の場合



長期療養者就職支援事業実績 (H28年4月～12月)

• がん診療連携拠点病院(32件)

病院名	全体	がん	非がん
長崎大学病院	25	19	6
日赤長崎原爆病院	2	2	0
長崎みなとメディカルセンター市民病院	2	2	0
長崎医療センター	2	2	0
佐世保市総合医療センター	1	0	1

• 拠点病院以外(9件)

病院名	全体	がん	非がん
A病院	2	2	0
B病院	1	1	0
その他 (診療所等)	6	1	5

平成28年度 第1回 相談支援ワーキンググループ研修会①

【テーマ】 就労支援

【目的】 長崎大学病院とハローワークとの連携
について知る。

【日時】 平成28年11月19日(土) 10:00～12:30

【場所】 長崎医療センター 人材育成センター2階 あかしやホール

【対象者】 長崎県内のがん診療連携拠点病院の医療従事者

【参加者】 31名(拠点・推進病院がん相談員16名、それ以外15名)



平成28年度 第1回 相談支援ワーキンググループ研修会②

【内容】

・第1部

「がん患者の就労支援を知ろう

～ハローワークによる出張相談事例から学ぶ～」

講師：長崎大学病院 がん診療センター MSW青木美帆

ハローワーク長崎 就労ナビゲーター 松清美加氏

・第2部

「がん患者の就労支援に関するグループワーク」



就労ナビゲーター 松清美加 氏

平成28年度 第2回 相談支援ワーキンググループ研修会①

【テーマ】 就労支援

【目的】 就労支援について認識を深め、県内の医療従事者へも周知する

【日時】 平成29年1月15日(日) 10:00～12:00

【場所】 長崎みなとメディカルセンター市民病院 醫聖ホール

【対象者】①長崎県内のがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターの相談員

②長崎県内の医療従事者

【参加者】 23名(拠点病院20名、拠点以外3名)



平成28年度 第2回 相談支援ワーキンググループ研修会②

【内容】

第1部

「がん患者等の長期療養者の就労支援を知ろう
～ハローワークによる出張相談事例から学ぶ～」

長崎大学病院 がん診療センター MSW青木美帆

ハローワーク長崎 就労ナビゲーター 松清美加 氏



第2部

「がん相談員と就労ナビゲーターとの就労支援に関する事例検討」



今後の課題

- がん相談支援センターの周知
- 患者サロンの充実
- がんに関する情報提供

2) がん告知の現状と課題

県内の拠点・推進病院にアンケート実施

- 調査時期：平成29年1月
- 調査施設：県内8施設の拠点・推進病院
- 調査対象：がん相談支援センターの相談員
- アンケート内容：告知時の現状、課題
- 調査方法：自由記載でメールにて回答

がん告知時の現状

- 認定看護師が同席し、がん患者指導管理料1を算定している所もあるが、全患者にはできていないことが多い。(算定件数もバラつきあり)
- 医師、看護師から、がん相談員・臨床心理士などに同席依頼がある場合があるが、全患者ではない。
- 同席者を調整するシステムがある病院もある。
- 医師の裁量や診療科の方針で同席依頼がある。
- 同席した場合、継続フォローを行っているが十分にフォローできているとは言えない現状がある。

がん告知時の課題

- 同席有無は、医師の裁量に任せている
- マンパワー不足(認定看護師、がん相談員など)
- IC同席のスケジュール調整が難しい
- 告知後の継続的フォローが難しい(多職種との連携等含め)
- 告知後の支援を行う一つの窓口として、がん相談支援センターの存在、役割が十分に周知されていないことも課題

ご清聴ありがとうございました。